

新型コロナウイルス感染症対策に関する申し入れ

2020年3月30日

吉川市長 中原 恵人 様
吉川市教育長 戸張 利恵 様

日本共産党吉川市議員団

新型コロナウイルスの「感染爆発」を防ぐための外出自粛要請が、埼玉県も含め行われるなど、市民の不安は日々広がっています。政府専門家会議も、「一部地域で感染拡大が継続しており、大規模流行につながりかねない」との見解を公表しています。日本共産党吉川市議員団は、市民のみなさんの安全と安心を確保し、一日も早い解決をめざす立場から、以下の点について申し入れます。

記

1. 市民の不安に応えるための「ワンストップ」の「相談窓口」を設置し、そのための相談員の配置を行い、市民に周知すること。
国は雇用調整助成金や新型コロナウイルス感染症特別貸付など支援策を強めていますが、手続きが分かりにくい、煩雑だ、などの声が出ています。市民の疑問に応え、ていねいに対応できる相談窓口とすること。
2. 医療機関や福祉・介護関連施設等でのマスク、消毒液、使い捨て手袋の不足状況を把握し、市として援助すること。
3. 検査体制の充実、発症後の対応、など国・県の責任で医療体制を強化すべく働きかけること。そのため市としても全面的な協力体制をとること。
4. 地域経済への影響が深刻化しています。個人営業を含め、中小零細企業等の状況把握と市独自の営業保障の検討を行うこと。「外出要請」等を実効あるものとするためにも重要です。
5. パートタイムなどで働く労働者にも、労働時間の短縮や自宅待機による収入減の不安が広がっています。実態把握と市独自の支援策について検討すること。
6. 国民健康保険税の減免と納付猶予の相談など速やかに応じること。国民健康保険の資格証明発行世帯に対し、ただちに短期の被保険者証を発行するなど対応すること。
7. 子どもの新学期開校については、科学的な知見をふまえた合理的な目安に基づき、学校の意向もふまえて対応すること。専門家会議が呼びかける「3つの条件が同時に重なる場」の回避など対策を徹底すること。

8. 「勉強の遅れが心配」とする声も出ていますが、機械的に授業をふやせば子どもや教員の負担が大きくなります。学校や教員に最大限の裁量を保障し、子どもが楽しみにしている行事を保障し、個々の実情に応じて無理なく遅れを取り戻す計画とすること。
9. 一律休校の結果、学校給食が中止となり、生産者や取引業者に損害が発生しています。その損害を補償すべく、国へ働きかけること。

以上